

CHOFU

本体取扱説明書

保証書付

石油瞬間給湯器 / 高圧力型石油瞬間給湯器

エコフィール

型名

石油瞬間給湯器

〔石油小形給湯機〕

EH1-3870S

EH1-3870SG

EH1-4570S

EH1-4570SG

EHIF-3870SG

EHIF-4570SG

高圧力石油瞬間給湯器

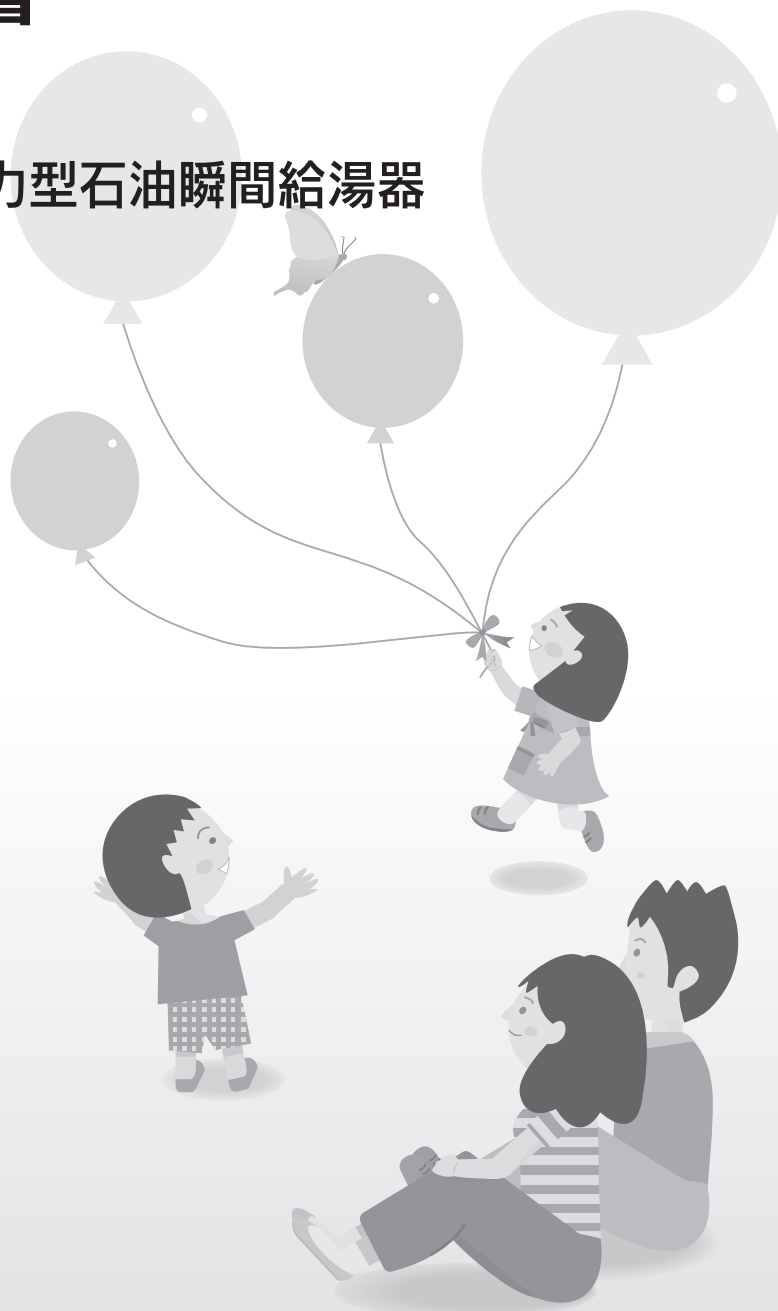
〔高圧力型石油小形給湯機(温水ボイラー)〕

EH1-4570SGH

EHIF-4570SGH

ご使用前のお願い

- 本書にはリモコンの操作説明は記載されていません。
リモコンに付属している「取扱説明書」と併せてお読みください。



このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用前に、『所有者票』(製品に添付)を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20962270 (K)

取扱説明書をお読みになる前に

機器の排気タイプ・能力タイプ・給湯方式を確認してください。

本書では必要な項目で機器の型名・排気タイプ・能力タイプ・給湯方式を記載して説明しています。

□(太枠)内に英数字や✓(チェックマーク)を記入しておくと、今後お読みになるときに役立ちます。

1 機器前パネルの銘板に表示している型名を確認してください。



2 型名から以下の表で排気タイプ・能力タイプ・給湯方式を確認してください。

型名: EHI □ - □ 70 □
 英字 (なし または F) 数字 (38 または 45) 英字 (1~3文字)

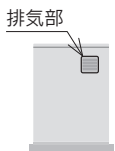
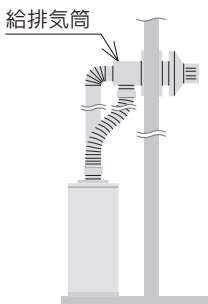
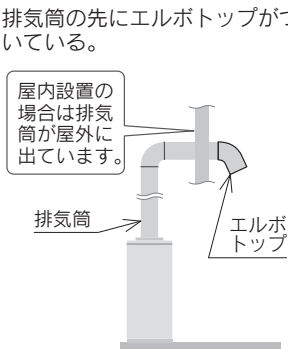
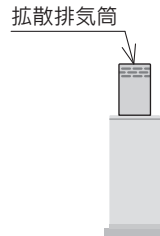
能力タイプ

38	☐ 38タイプ
45	☐ 45タイプ

給湯方式

Hが入っている	☐ 高圧力型
Hが入っていない	☐ 標準圧力型

排気タイプ

Fが入っている	Fが入っている	左以外は排気筒の形状を確認する	
☐ 前面排気タイプ	☐ 強制給排気タイプ	☐ 強制排気タイプ	☐ 無煙突タイプ
			

ご使用の前に	取扱説明書をお読みになる前に	2
	特に注意していただきたいこと	4
	各部の名称(外観図)	11
	ご使用前の準備と確認	
	(燃料)	13
	(給油)	13
	(油切れ予告装置について)	13
	(点火前の準備と確認)	14
	冬期の凍結による破損防止について	
	(凍結予防)	16
必要なときに	(水抜き後の再使用のとき)	18
	(凍結したとき)	20
	長期間使用しない場合	20
	日常の点検・手入れ(点検・手入れの必要事項、時期、方法)	21
	定期点検	25
	法定点検	25
	故障かな？と思ったら	
	(修理を依頼する前に)	26
	(安全装置)	28
	(その他の装置)	28
	(エラーコード)	30
	部品交換について	33
	仕 様	34
	据付け	36
	試運転	36
	保証書	巻末
	アフターサービス	裏表紙

「リモコンの操作方法と機能設定」はリモコンに付属している取扱説明書で説明しています。

困ったときは？

地震や火災が起きた！

▶ 6ページ

凍結を予防したい

▶ 16・17ページ

お手入れは
どうしたらいいの？

▶ 21～24ページ



給湯器の動きが
いつもと違う

▶ 26～28ページ

リモコンにエラーコード
を表示している！

▶ 30～32ページ

特に注意していただきたいこと

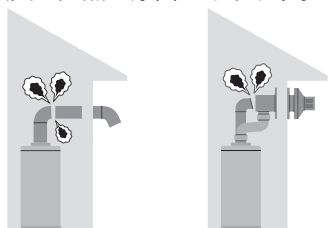
- 本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		

警告

●排気筒・給排気筒はずれ危険 (屋内設置の場合)

排気筒や給排気筒(管、ホース)がはずれたまま使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



●排気筒閉そく危険 (強制排気タイプで屋内設置の場合 2ページ)

排気筒がつまったり、ふさがれたりしたまま使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



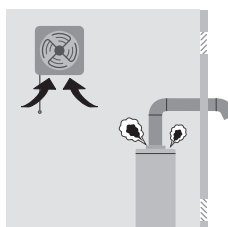
●給排気筒トップ閉そく危険 (強制給排気タイプの場合 2ページ)

給排気筒トップの周りが雪や氷柱(つらら)でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



●換気扇の同時使用禁止 (強制排気タイプで屋内設置の場合 2ページ)

機器を設置した室内に換気扇が設置されている場合、燃焼中に換気扇を使用すると、排ガスが逆流して火災や事故の原因になります。換気口が設置されていてもリモコンの運転スイッチが「入」のときは、換気扇を使用しないでください。



●家庭用以外の使用禁止 (高圧力型の場合 2ページ)

この機器は家庭用です。業務用に使用すると法令違反になります。

●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

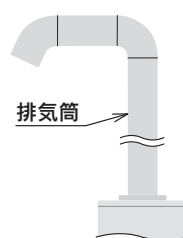
子どもに注意する

思わぬ事故の原因になります。

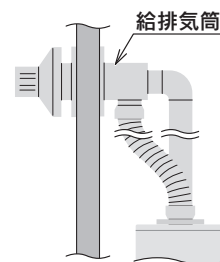
- 子どもをお風呂にもぐらせない
- 子どもを浴室で遊ばせない
- 子どもだけで入浴させない



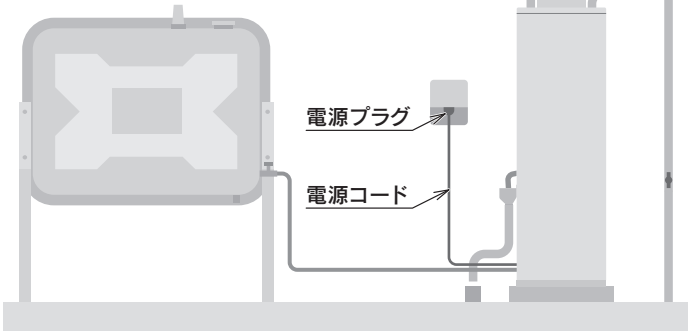
強制排気タイプ



強制給排気タイプ



油タンク



●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

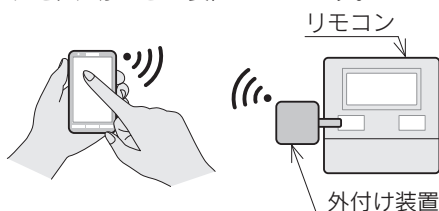
	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。						
	ガソリン厳禁		濡れ手禁止		分解禁止		接触禁止		一般的な警告・注意
	高温注意		感電注意		アースを接続する		電源プラグを抜く		

●文中の(○ページ)の数字は参照ページを表します。

警告

●外付け装置(※)による遠隔操作厳禁

機器本体およびリモコンのスイッチの操作を、外付け装置を使用して行くと、思わぬ事故の原因になることがあるため使用しないでください。
※外付け装置とは、スイッチ付近に設置し、インターネット通信などを利用して機械的にスイッチを入/切できる装置のことです。



●電源コードは切断して延長しない

電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。
絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災・感電・発熱の原因になります。



高温注意

●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変えない

使用者以外の人がお湯の温度を変えたり、リモコンの運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりすると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。



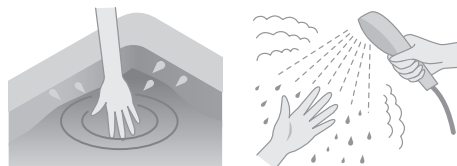
●入浴時やシャワー使用時は必ず手でお湯の温度を確かめる

やけどのおそれがあります。
使い始めは正常な温度でも使用中に熱いお湯が出る場合がありますので、熱いお湯が出たときはすぐに使用を中止してください。なお、このような状態が続く場合は、機器の故障の可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。



また、給水温度が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度より熱いお湯が出る場合がありますので、水を混ぜたり、お湯の量を増やしたりしてからお湯の温度を確かめて使用してください。

太陽熱温水器と接続している場合は、熱いお湯が出る場合がありますので、特に注意してください。



●お湯を使用中は温度変化に注意する

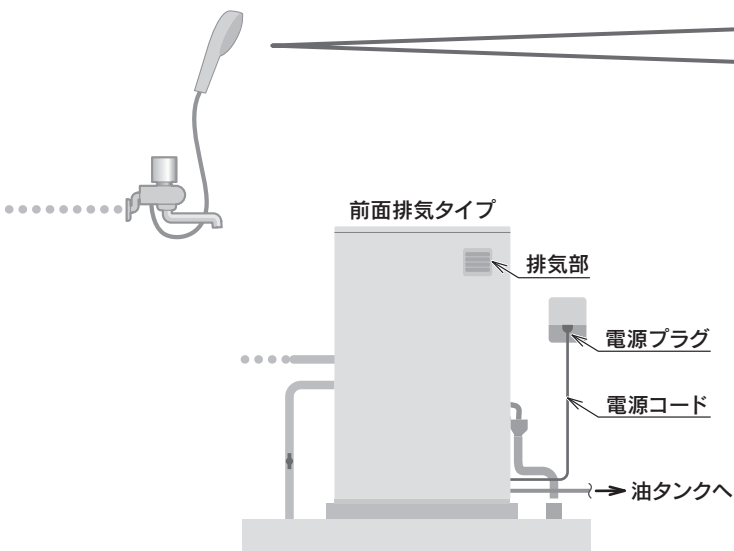
以下の場合は一時的に熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。

- ・お湯を止めた後に再使用するとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・他の場所で大量に水を使用したとき



●改造・分解禁止

絶対に改造や分解は行わないでください。
改造や分解は機器の安全性を損ない、火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因になります。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

地震や火災などの緊急時の処置



1. すぐに使用を中止し、リモコンの運転スイッチを「切」にする
2. 送油バルブ・給水元栓を閉める
3. 電源プラグを抜く
4. 機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店に連絡する

異常・故障時使用禁止



使用を続けると事故の原因になります。

1. 以下の場合はすぐに使用を中止する
 - ・ 点火しない、機器が使用中で失火した
 - ・ 使用中に異常な臭気・音・温度を感じた
 - ・ 多くのススが出る
 - ・ 油が漏れている
2. 「故障かな？と思ったら」を参照して処置を行う **26～31ページ**
3. 処置を行っても直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡する

● 台風通過後の注意



屋外に設置している機器や油タンクは、状態を確認してから使用してください。機器や油タンクが倒れていたり、機器の排気口が物でふさがっていたりすると、正常に作動しなくなります。

● 油漏れに注意する



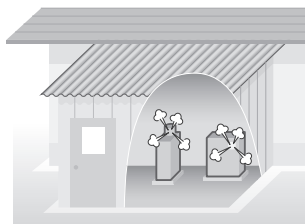
機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。火災の原因になります。

囲い禁止 (屋外設置の場合)

不完全燃焼や火災の原因になります。



- 設置後、増改築などにより屋内状態にしない
- 機器全体や排気部または拡散排気筒などを波板やビニール、工事に使用した養生シートなどで囲わない
- 外壁工事などで機器全体や排気部または拡散排気筒が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



イラストは無煙突タイプと前面排気タイプです。

使用上の注意

- 給湯・シャワー以外には使用しない
思わぬ事故の原因になります。
- 機器内のお湯を排水するときはやけどに注意
使用直後は熱湯が排水されることがありますので、やけどのおそれがあります。機器内のお湯を排水するときは、運転を停止し機器が冷めてから排水してください。
- 純正部品を使用する
当社純正部品を使用しないと事故や故障の原因になります。
- 機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事は、必ずお買い求めの販売店に依頼する
お客様ご自身で行うと火災・感電・事故の原因になります。
- 長期間使用しないとき
「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」を参照して水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。 **17ページ**
火災や思わぬ事故の原因になります。



● 子どもを機器の周囲で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。

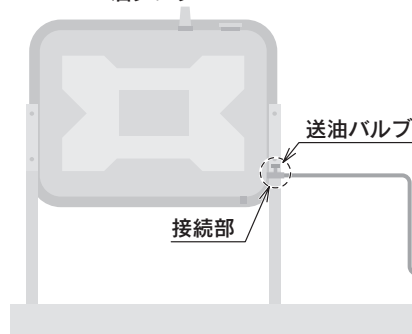


● もらい錆に関する注意

機器の周囲で発生した錆が機器外装に付着し、錆びる(もらい錆をする)ことがあります。



油タンク

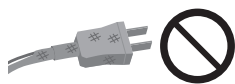


⚠ 注意

電源コード、電源プラグ、アースについて

- 傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使用しない

火災・感電・発熱の原因になります。



- 無理な力を加えない

- ・ 無理に曲げない
- ・ 引っ張らない
- ・ 物を載せない
- ・ 衝撃を与えない

火災・感電・発熱の原因になります。



- 傷つけたり、破損させたりしない

火災・感電・発熱の原因になります。



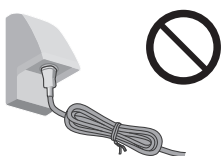
- 電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない

火災・感電・発熱の原因になります。



- 電源コードを束ねたまま使用しない

火災や発熱の原因になります。



- 電源プラグを抜いて停止させない

火災や故障の原因になります。



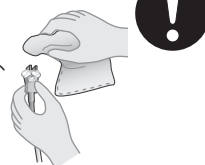
- 電源プラグを濡れた手で触らない

雨が降っているときは電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



- 電源プラグのほこりは定期的にふきとる

リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。ほこりを乾いた布でふいてください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



※バックアップ電源ユニットと接続した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にした後、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にしてから、給湯器の電源プラグおよびバックアップ電源ユニットの電源プラグを抜いてください。

ほこりを乾いた布でふいてください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

- 電源プラグは確実に差し込む

火災・感電・発熱の原因になります。



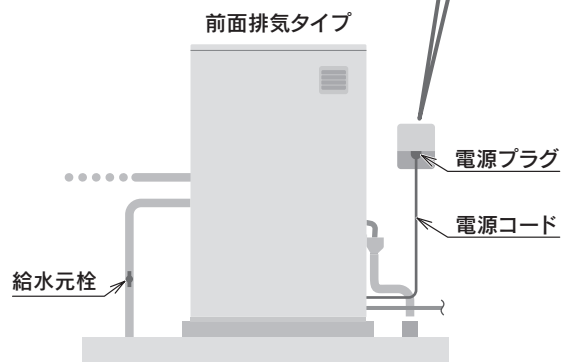
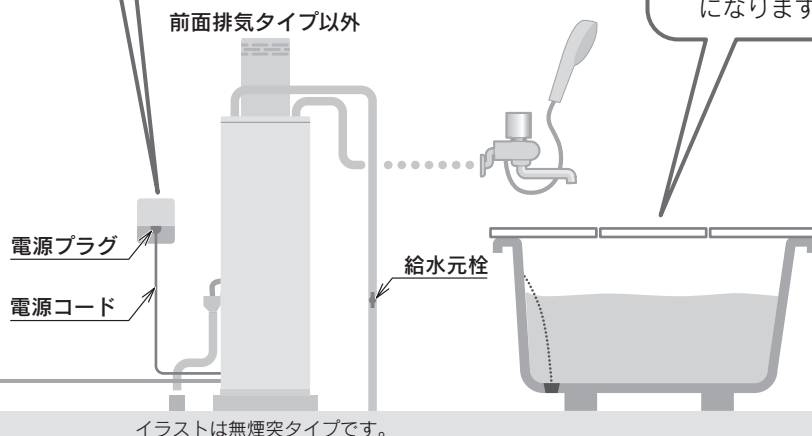
- アースを確認する

この機器はアースが必要です。アースが接続されていない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。感電の原因になります。



- お風呂のふたに乗ったり、手をついたりしない

ふたがはずれておぼれたり、やけどをしたりするなど思わぬ事故の原因になります。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

可燃物禁止

- 機器の上や周囲に燃えやすい物を置かない
新聞紙・灯油・木材・洗濯物などを置かないでください。
火災の原因になります。



- 機器の上や周囲に引火性危険物を置いたり、使用したりしない
爆発や火災の原因になります。
引火性危険物とは、ガソリン・ベンジン・スプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどです。スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどは熱で缶内の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。

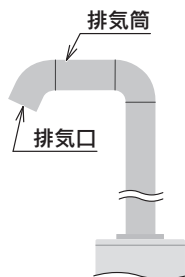


高温部接触禁止

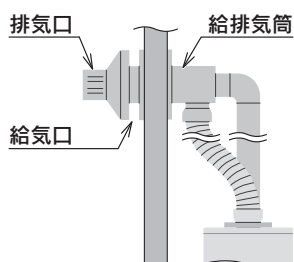
- 燃焼中や消火直後は高温部(機器・排気筒・給排気筒・拡散排気筒・排気部)に手など触れない
やけどの原因になります。



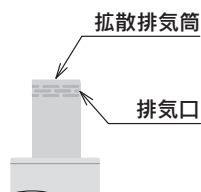
強制排気タイプ



強制給排気タイプ



無煙突タイプ



前面排気タイプ



● 家庭用以外の使用禁止

(標準圧力型の場合 2ページ)

この機器は家庭用です。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。



● ゴム製送油管の点検・交換をする

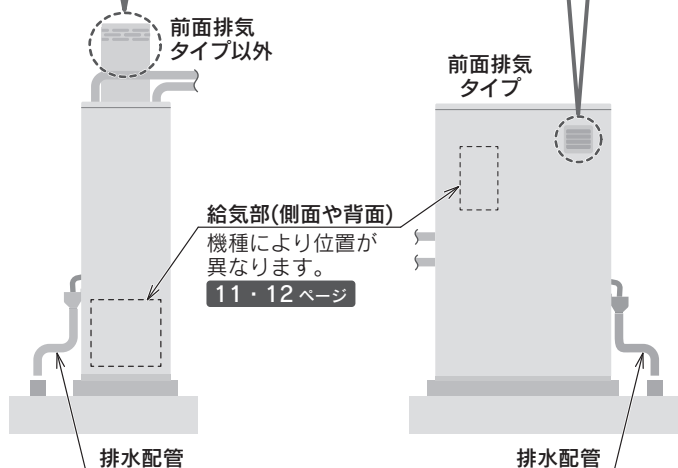
(強制給排気タイプ・強制排気タイプの場合)
2ページ



屋内に設置してゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しい物に交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。

● ゴム製送油管の屋外使用禁止

屋外では必ず金属管(銅管など)を使用し、ゴム製送油管は絶対に使用しないでください。ひび割れを生じて油漏れの原因になります。



- 排水配管から排出される水を飲用・飼育用などに使用しない
健康を害する原因になります。



- 給気部や排気口に指や棒を入れない
けがや事故の原因になります。



お願い

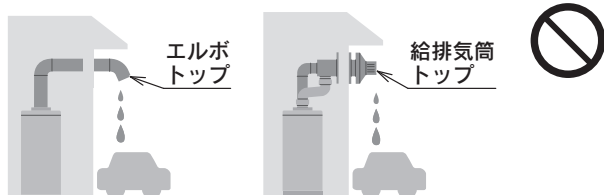
使用上の注意

●機器の近くに電気器具を置かない

テレビの映像が乱れたり、ラジオに雑音が入ったりすることがあります。

●エルボトップや給排気筒トップの真下に物を置かない

エルボトップや給排気筒トップから排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。
真下に物などを置かないでください。



●点検・整備のためのサービススペースを確保する

前パネル側は必ず60cm以上あけてください。

工事説明書参照

●高地で使用するときはご相談ください

標高800～1,300mの高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談ください。

標高1,300mを超える場所では使用できません。

燃焼不良の原因になります。

●水道水を使用する

(高圧力型の場合 2ページ)

給水には水道水を使用してください。

高圧力型は水道水以外を使用してはいけません。

●地下水・井戸水使用時の注意

(標準圧力型の場合 2ページ)

水道水の使用をおすすめしますが、地下水や井戸水も使用できます。

ただし、地下水や井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する故障修理は、保証期間内でも有料になります。

●温泉水は使用しない

(標準圧力型の場合 2ページ)

温泉水を使用すると、水質によっては故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

●リモコンの運転スイッチが「切」のときは給湯栓を開けない

リモコンの運転スイッチが「切」のときに給湯栓を開けて大量の水やシャワーを使用すると、機器内の通水部が結露して機器の寿命を縮めます。

●冬期の入浴について

冬期など浴室や脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)により、特に高齢者のかたは入浴事故につながるおそれがあります。

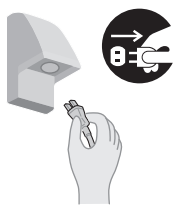
入浴前に暖房機器で浴室と脱衣室を暖めてください。

浴室で利用できる暖房機器がない場合でも、お風呂にふたをしないで湯はりをしたり、シャワーで湯を流したりして浴室を暖めることができます。

雷発生時の注意

●雷が鳴りはじめたらリモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷する原因になることがあります。



●雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込む

電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電の原因になることがあります。



停電時の注意

●停電したときは給湯栓を閉める

停電すると運転が停止します。停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。現在時刻を表示していない場合は、現在時刻の設定を行ってください。リモコン取扱説明書参照

●冬期に停電したとき

凍結により機器が破損するおそれがありますので、「冬期の凍結による破損防止について」の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」を参考にして凍結予防の処置を行ってください。16・17ページ

特に注意していただきたいこと

お願い

積雪時の注意

●点検・除雪を行う

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。
雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



以下の場合取扱説明書を参照して処置を行う

●リモコンにエラーコードを表示したとき

30・31ページ

処置を行わないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。

●凍結のおそれがあるとき 16・17ページ

冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。凍結により機器が破損した場合の修理は保証期間内でも有料になります。

断水時の注意

●断水したときは運転を停止し、給湯栓を閉める
給湯栓を開けたままにしておくと、断水復帰後にお湯(水)が流れ続けます。

●断水復帰直後のお湯(水)は飲用や調理に使用しない

飲用や調理に適さないお湯(水)が配管にとどまる場合がありますので、断水復帰後は給湯栓を開けて充分お湯(水)を流してから使用してください。

混合水栓について

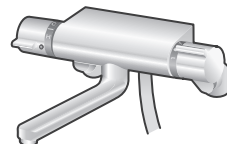
●通水抵抗が少ない物、シャワーヘッドの圧力損失が少ない物を使用する

通水抵抗や圧力損失が大きいと、出湯量減少の原因になります。

●水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

●やけど防止のため、サーモスタット付混合水栓の使用を推奨

2ハンドル混合水栓やシングルレバー混合水栓を使用しているときは、熱いお湯が出て、やけどの原因になります。



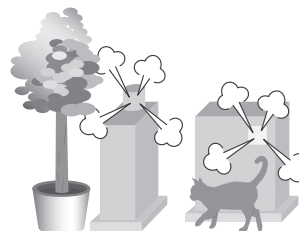
機器内のお湯(水)について

●機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、飲用や調理に使用しない

水質の変化により健康を害する原因になります。雑用水として使用してください。

排ガスについて

●植物やペットなど、排ガスによって悪影響を受ける物を周囲に置かない



●排ガスを直接、建物の外壁・窓・ガラス・アルミサッシや塗装部分にあてない

変色・破損・腐食の原因になります。

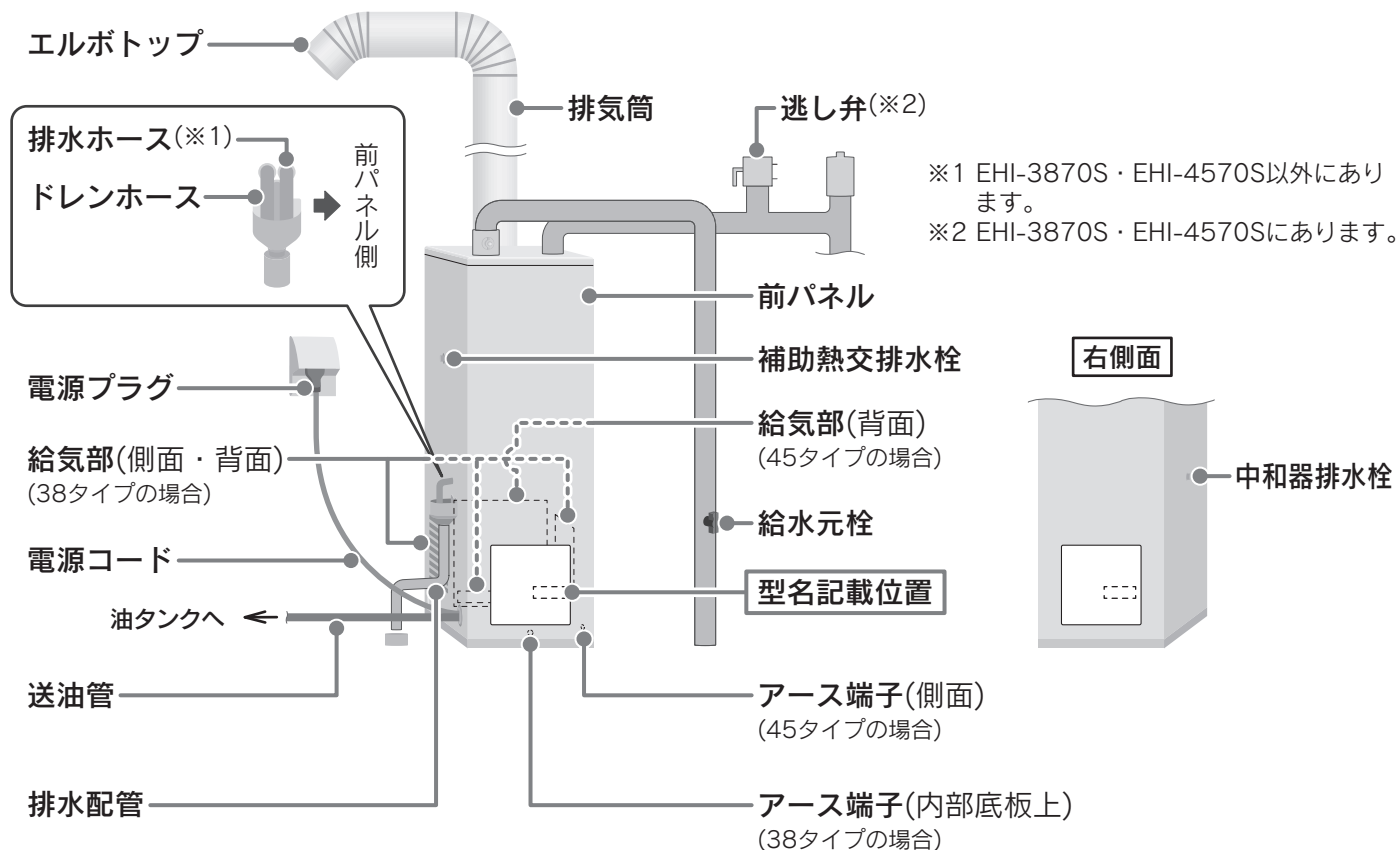
各部の名称

外観図

※排気タイプや能力タイプについては、2ページに記載しています。
イラストはイメージです。

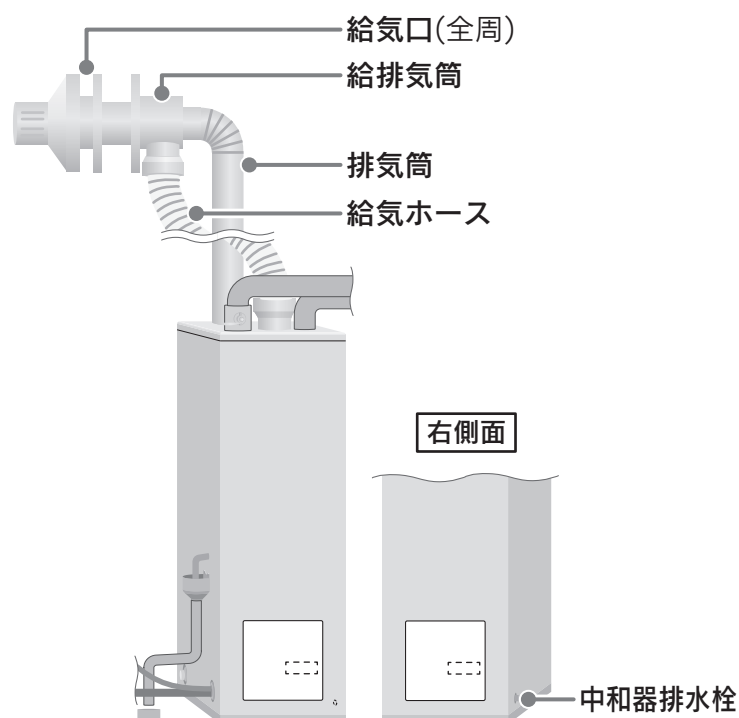
強制排気タイプ(屋内外設置)

※排気筒(エルボトップ)取付時



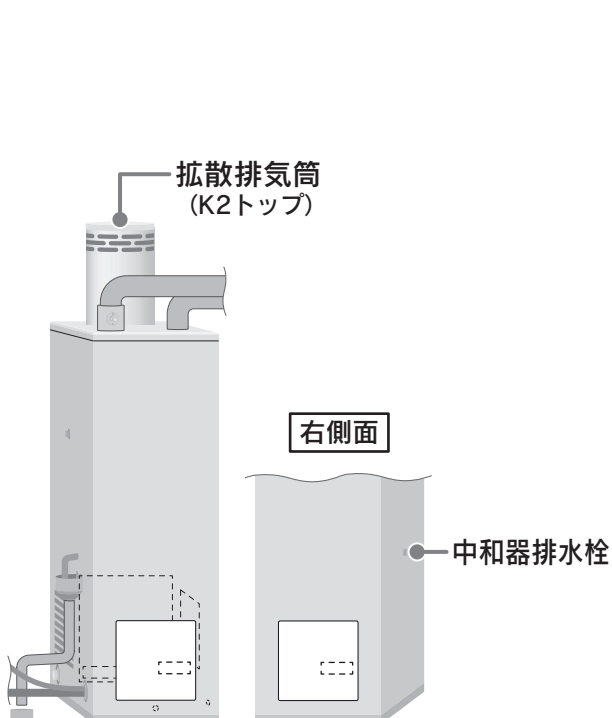
強制給排気タイプ(屋内設置)

※給排気筒取付時



無煙突タイプ(屋外設置)

※拡散排気筒(K2トップ)取付時

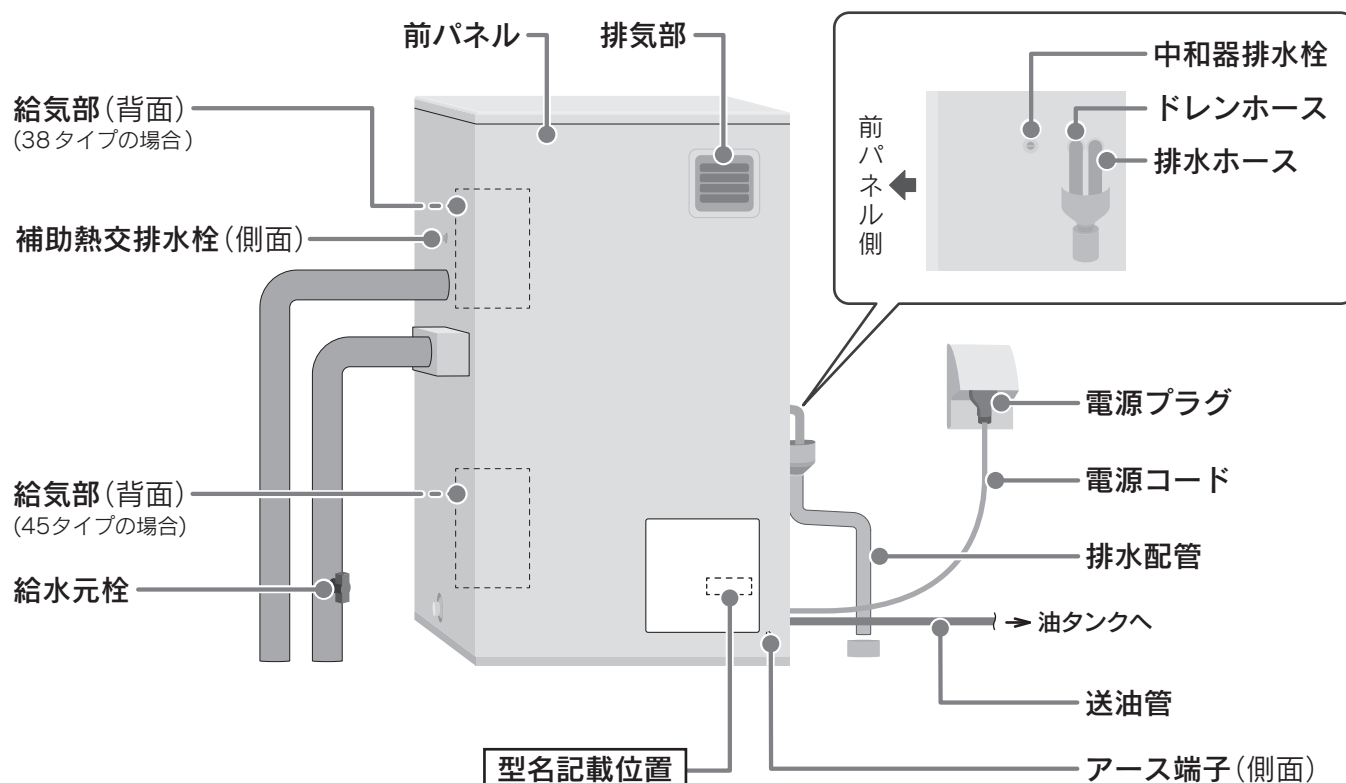


使用の前に

必要なときに

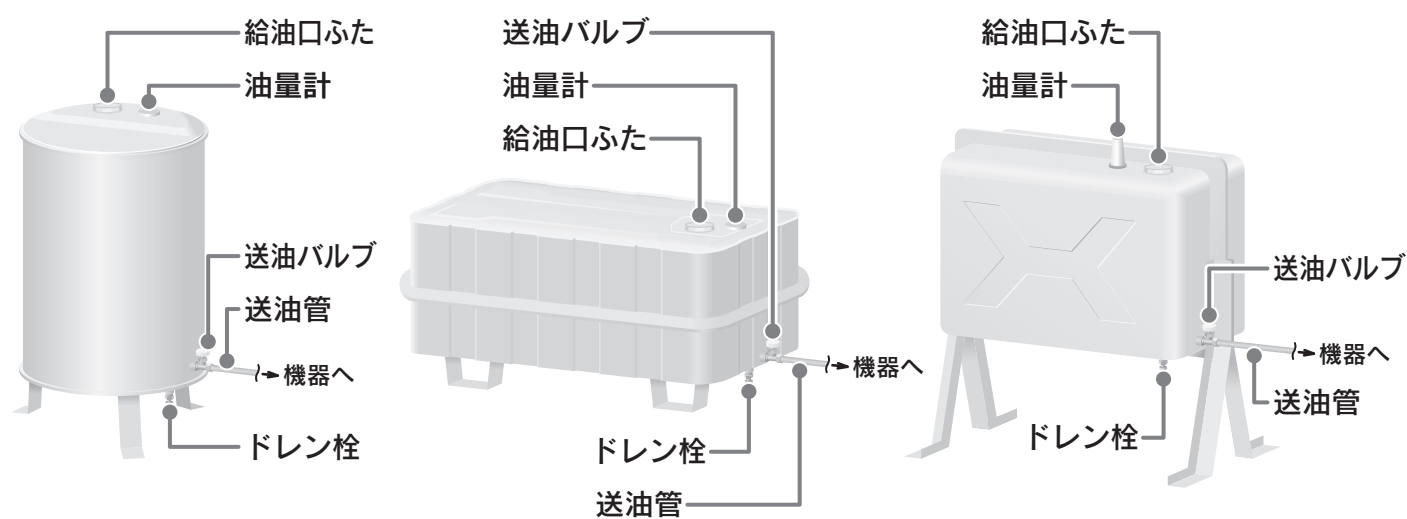
各部の名称

前面排気タイプ(屋外設置)



油タンク(別売部品)

- 別売の油タンクは3種類の形状があります。
(部品の位置は油タンクにより異なる場合があります。)



ご使用前の準備と確認

燃料

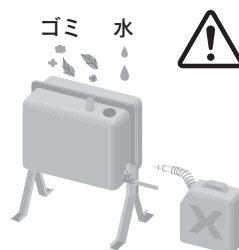
警告

- ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他の物が混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- 燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

給油

給油の際の注意

- 必ずリモコンの運転スイッチを「切」にしてから行ってください。
- 水やゴミが入らないように特に注意してください。
- 給油後は給油口ふたを確実に閉め、灯油がこぼれたときはふきとってください。



燃料切れに注意

注意

- 頻繁に燃料切れを起こしリセットを繰り返すと、バーナーの性能低下により多くのススが出て、建物の壁などを汚すおそれがあります。
- 燃料切れを起こさないように、こまめに灯油の残量を確認して早めの給油を心がけてください。

燃料切れをしたときは

給油してください。すぐに給油できないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

- 燃料切れをしたときは、リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示します。 **30・31ページ**

給油後にリセットすると、送油経路の空気が抜けて燃焼を再開します。

(送油経路の空気が抜けるまでは振動音が出たり、リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示して停止したりしますが故障ではありません。連続燃焼するまでリセット操作を行ってください。)

- リセットを2～3回行っても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
リセットを約8回繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。

■リセットの方法

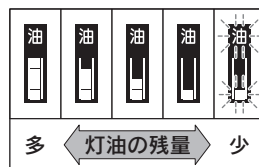
リモコンの運転スイッチを「切」にしてから、再度「入」にします。

油切れ予告装置(別売部品)について

- 油切れ予告装置を取り付けると、台所リモコンで給油の時期を確認することができます。
- 油切れ予告装置は「OC-5」と「OC-31」の2種類あります。
- 油タンクに複数の機器を接続している場合でも使用できます。

OC-5を取り付けたとき

- 台所リモコンに油面計を表示させ、油タンク内の灯油の残量を5段階で表示します。
- 灯油の残量が少なくなると油面計の1段階目が点滅するとともに、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。
- 設定方法は油切れ予告装置に付属の説明書をご覧ください。



☆ は点滅を表します。



OC-31を取り付けたとき

- 灯油の残量が少なくなると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。(灯油の残量は表示しません。)
- 「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。



ご使用前の準備と確認

点火前の準備と確認

1 機器および周囲を確認する

機器・排気筒・給排気筒・拡散排気筒・排気部・油タンクの上や周囲に引火性危険物や燃えやすい物、また排ガスによって悪影響を受ける物を置かないでください。**8・10ページ**

給気口・排気口・給気部がふさがれていないことを確認してください。**21ページ**



※イラストは無煙突タイプと前面排気タイプです。

2 給水元栓を開ける

機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

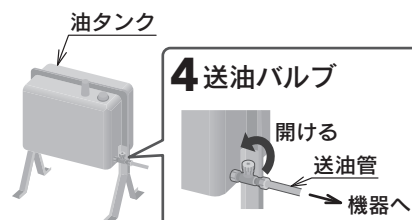
3 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める

4 油タンクの送油バルブを開ける

油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

5 電源プラグを差し込む

この機器の電源はAC100V専用です。AC200Vに接続すると機器が破損します。

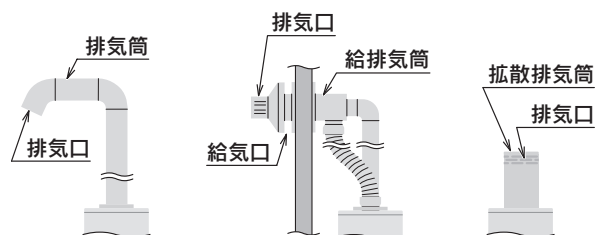


6 排気筒・給排気筒・拡散排気筒を確認する

排気筒や給排気筒の接続部・拡散排気筒に緩みやはずれがないことを確認してください。

緩みやはずれがあるときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

6 強制排気タイプ 強制給排気タイプ 無煙突タイプ



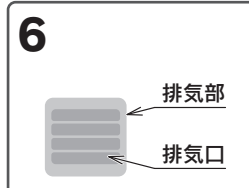
前面排気タイプ以外

2 水漏れ確認

5 電源プラグ

前面排気タイプ以外

2 給水元栓 開ける



前面排気タイプ

2 水漏れ確認

5 電源プラグ

●このページは空白です。

冬期の凍結による破損防止について

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
(凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。)
- バックアップ電源ユニットを接続して、バックアップ運転を行っているときは凍結予防装置が作動しません。
凍結のおそれがあるときは、使用後に「じゃ口から水を流す方法」か「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

凍結予防

凍結予防には「バーナーを運転させる方法」、「じゃ口から水を流す方法」、「機器内の水を抜く方法」があります。

バーナーを運転させる方法

冷え込みが厳しいときはバーナーを運転させ、機器内の給水経路の凍結を予防します。

1 給湯栓を閉める

2 リモコンの運転スイッチを「入」にする

3 給湯温度を1段(38タイプの場合 **2ページ**)または、32℃(45タイプの場合 **2ページ**)に設定する

特に冷え込みが厳しいと予想される日は、給湯温度を7段(38タイプの場合)または、70℃(45タイプの場合)に設定しリモコンの燃焼表示が消灯するまで燃焼させたのち、1段(38タイプの場合)または、32℃(45タイプの場合)に設定してください。

お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので十分に保温してください。
- バーナーを運転する前に凍結していないことを確認してください。凍結したまま運転すると機器が破損するおそれがあります。
(リモコンの運転スイッチを「切」にして給湯栓を開けてください。お湯(水)が出れば凍結していません。)
確認後、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

じゃ口から水を流す方法

冷え込みが厳しく風が強いときは、じゃ口から少量の水を流して給水・給湯配管やバルブなどの凍結を予防します。

1 電源プラグが差し込まれていることを確認する

2 リモコンの運転スイッチが「入」のときは「切」にする

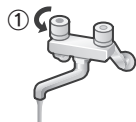
3 給湯栓を開ける

じゃ口から毎分約400cc(約4mm)の水を流したままにします。



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱい回す

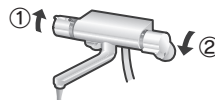
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

4 約30分後に水の量を確認する

流量が不安定なことがあるため確認を行います。

お知らせ

- 水を流すじゃ口は屋内の1箇所にかまいません。
お風呂に水をためると洗濯などの雑用水として使用できますのでムダになりません。
(お風呂にじゃ口が届かない場合は、じゃ口で流量を確認した後、シャワーに切り替えてお風呂に流してください。)
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカを「切」にしたりすると凍結予防装置が作動しませんので、注意してください。

機器内の水を抜く方法(冬期に長期間使用しないとき)

長期間使用しないときやじゃ口から水を流さずに電源プラグを抜くときは、この方法で行ってください。
この方法では配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。

⚠ 注意

- 使用直後は熱湯が排水されることがありますので、やけどに注意してください。
機器内のお湯を排水するときは、運転を停止し機器が冷めてから排水してください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

2 2分間以上経過してから電源プラグを抜く

3 給水元栓を閉める

4 缶体排水栓(バルブ)を開ける

5 すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開ける

〔減圧水出口(※1)から配管されている場合は、配管先の給水栓も開ける〕

水抜き終了後、給湯栓は再使用するときまで開けたままにしてください。

6 補助熱交排水栓と中和器排水栓をはずす(※2)

7 水フィルタをはずす(※2・※3)

〔水フィルタがついていない機種(※4)は逃し弁のレバーを上げる〕

減圧水出口(※1)に減圧水出口排水栓(※5)がついている場合は、減圧水出口排水栓もはずす

水抜き終了後、補助熱交排水栓・中和器排水栓・減圧水出口排水栓・水フィルタは次にお使いになるまではずしたままにしてください。

(なくさないように注意してください。)

(また、水フィルタのフィルタを变形させたり、Oリングやゴムパッキンに傷をつけないように注意してください。)

※1 減圧水出口はEHI-3870SG・EHIF-3870SGにあります。

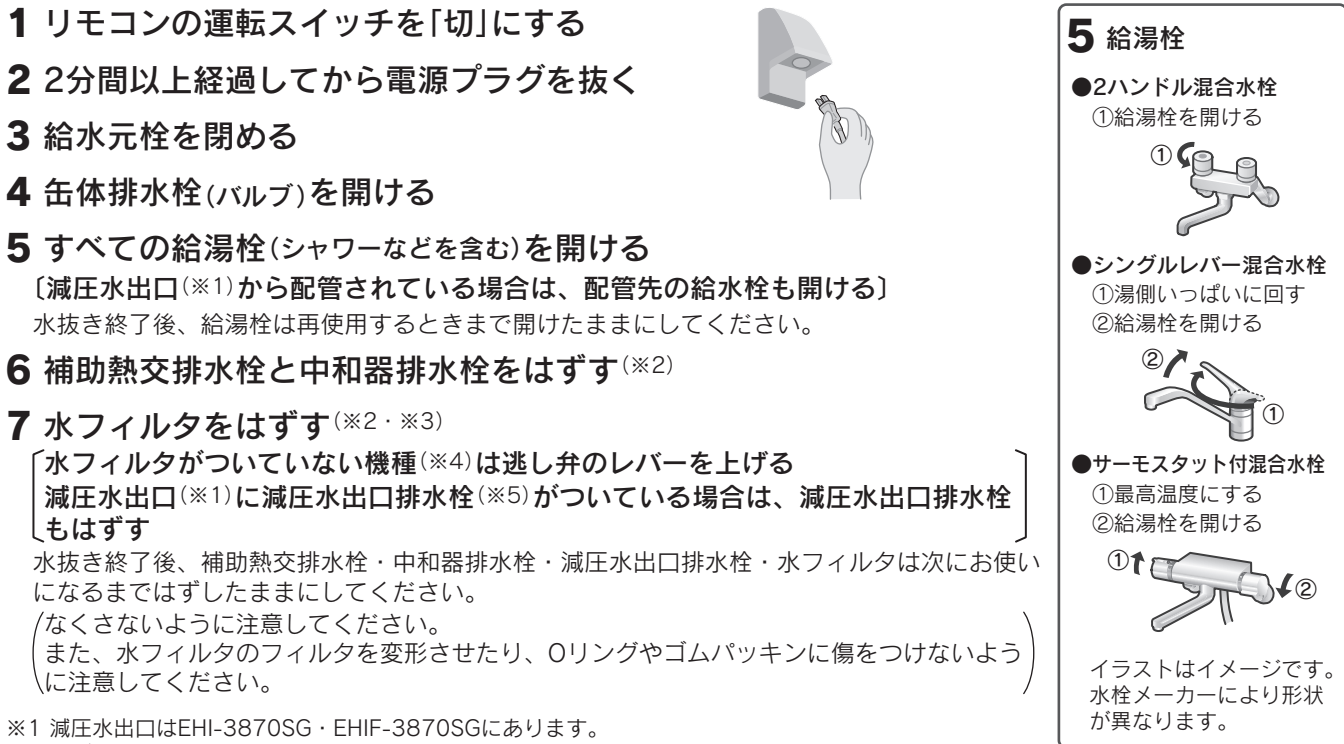
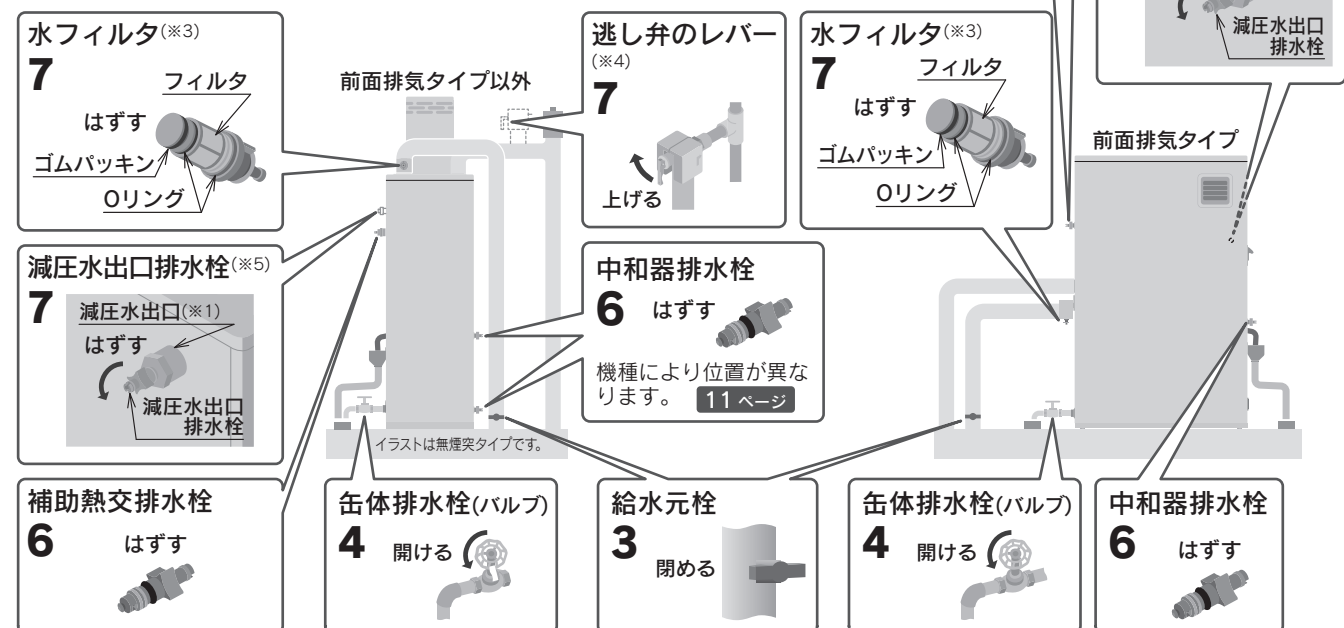
※2 水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。

(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)

※3 水フィルタはとEHI-3870S以外についています。

※4 EHI-3870S

※5 減圧水出口排水栓は減圧水出口から配管されていない場合についています。



お知らせ

- 再使用するときは「水抜き後の再使用のとき」を参照してください。18ページ

冬の凍結による破損防止について

水抜き後の再使用のとき

1 缶体排水栓(バルブ)を閉める

2 水フィルタ(※1)・補助熱交排水栓・中和器排水栓を取り付ける

〔水フィルタがついていない機種(※2)はレバーを下げる〕
〔減圧水出口排水栓(※3・※4)をはずした場合は取り付ける〕

3 給水元栓を開ける

4 すべての給湯栓から水が出ることを確認して閉める

〔減圧水出口(※4)から配管されている場合は、配管先の給水栓からも水が出ることを確認して閉める〕

水が出にくい場合は凍結していることがありますので、水が正常に出ようになってから運転してください。

確認せずに使用すると機器が破損することがあります。

●2ハンドル混合水栓

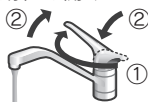
①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする

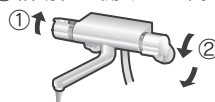
②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

5 中和器へ呼び水をする(強制給排気タイプのみ 2ページ)

「中和器への呼び水」を参照してください。 19ページ

6 電源プラグを差し込む

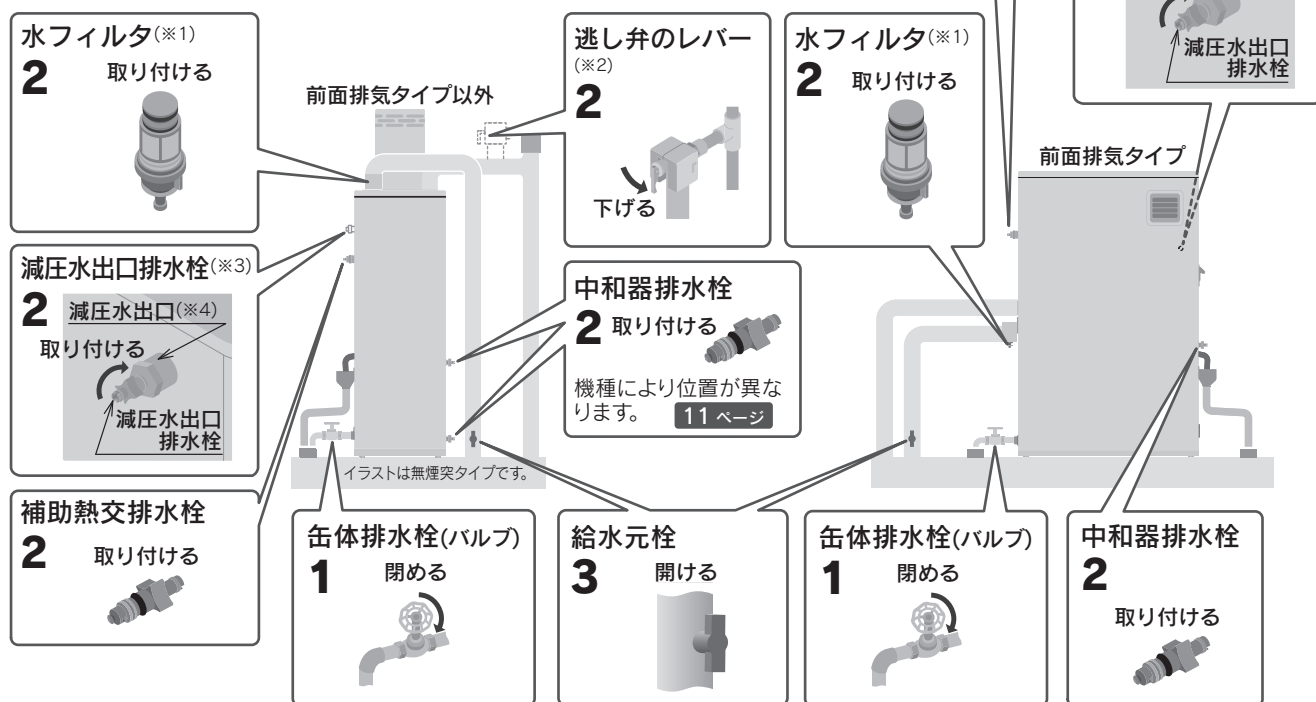
7 「点火前の準備と確認」(14ページ)とリモコンに付属している取扱説明書を参照して使用する

※1 水フィルタは EHI-3870S 以外についています。

※2 EHI-3870S

※3 減圧水出口排水栓は減圧水出口から配管されていない場合についています。

※4 減圧水出口は EHI-3870SG・EHIF-3870SG にあります。



お知らせ

●凍結した状態でリモコンの運転スイッチを「入」にするとエラーコード「261」「661」を表示することがあります。 30・31ページ

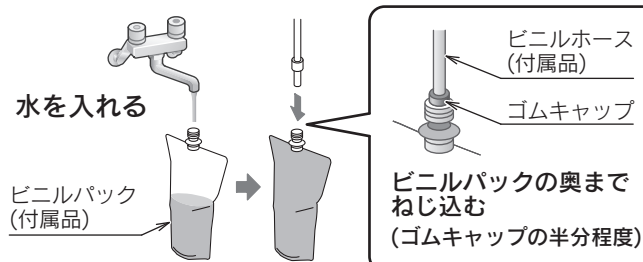
中和器への呼び水 (強制給排気タイプのみ 2ページ)

⚠ 注意

- この作業は、室内への排ガス漏れを防ぐために重要です。
機器内の水を抜いたときは、必ず運転前に行ってください。
呼び水をせずに機器を運転すると、警報になり運転することができません。

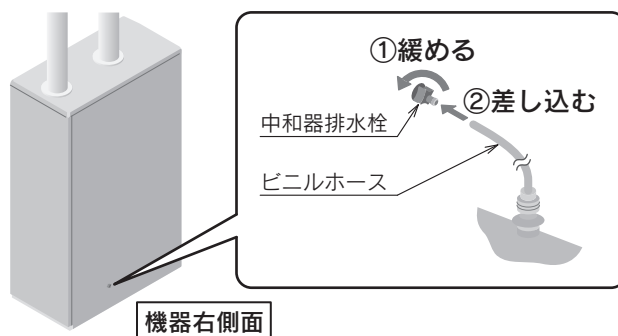
1 ビニルパックに水を入れる

1. ビニルパックが満杯になるまで水を入れてください。
2. ビニルホース(ゴムキャップ付)のゴムキャップを水が漏れないように奥まで(ゴムキャップの半分程度)ねじ込んでください。



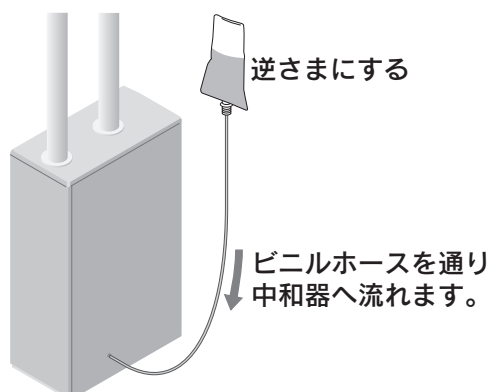
2 ビニルホースを機器に接続する

機器右側面の中和器排水栓を反時計回りに1回転緩め、ビニルホースを差し込んでください。



3 呼び水をする

ビニルパックを機器の上の高さまで持ち上げて逆さまにしてください。
中和器排水栓から中和器へ呼び水が行われます。



4 呼び水完了

ビニルパックの水がなくなったら終了です。
(水の量が多いと、ドレンホースから水が出る場合がありますが異常ではありません。)
中和器排水栓を元通りに締めて、ビニルホースをはずしてください。



5 道具の保管

ビニルパックとビニルホースはなくさないように保管してください。
機器内には保管しないでください。

冬の凍結による破損防止について

凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

1 リモコンの運転スイッチが「入」のときは「切」にする

2 ときどき給湯栓を開ける

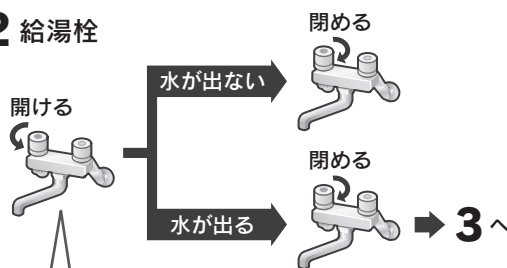
〈じゃ口から水が出ない場合〉

まだ凍結しています。給湯栓を閉め、時間をおいて再度給湯栓を開けてください。

〈じゃ口から水が出た場合〉

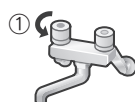
給湯栓を閉めて **3** を行ってください。

2 給湯栓



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする

②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 すべての給水栓と給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

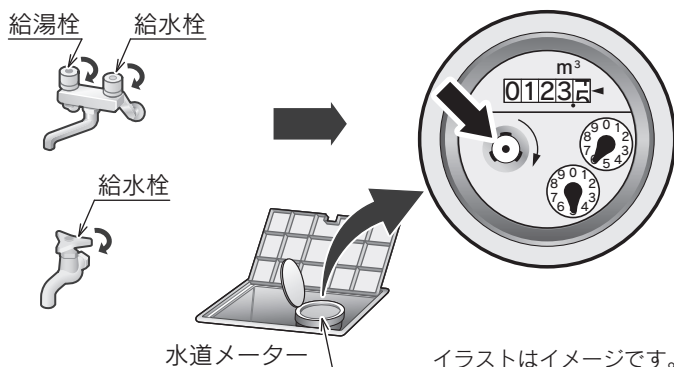
給水・給湯配管が凍結すると、機器や配管が破損することがあります。

水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。

4 「点火前の準備と確認」(14ページ)とリモコンに付属している取扱説明書を参照して使用する

3 閉める

回っていないこと



イラストはイメージです。

長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」を参照して水抜きを行ってください。 **17ページ**

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠ 注意

- 運転音の確認以外は必ず運転を停止し、機器が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

点検・手入れの必要事項、時期、方法

毎日

油漏れ、油のたまり、油のにじみ

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などから油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

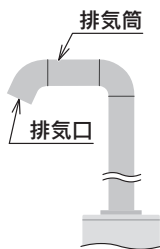
周囲の可燃物

機器・排気部・排気筒・給排気筒・拡散排気筒・油タンクの周囲に引火性危険物や燃えやすい物がないことを確認してください。

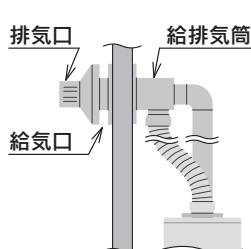
排気筒・給排気筒・拡散排気筒の接続部の緩み、外観

排気筒・給排気筒の接続部分や拡散排気筒に緩みがないこと、また多くのススがついていないことを確認してください。緩んでいたり、多くのススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

強制排気タイプ



強制給排気タイプ



無煙突タイプ

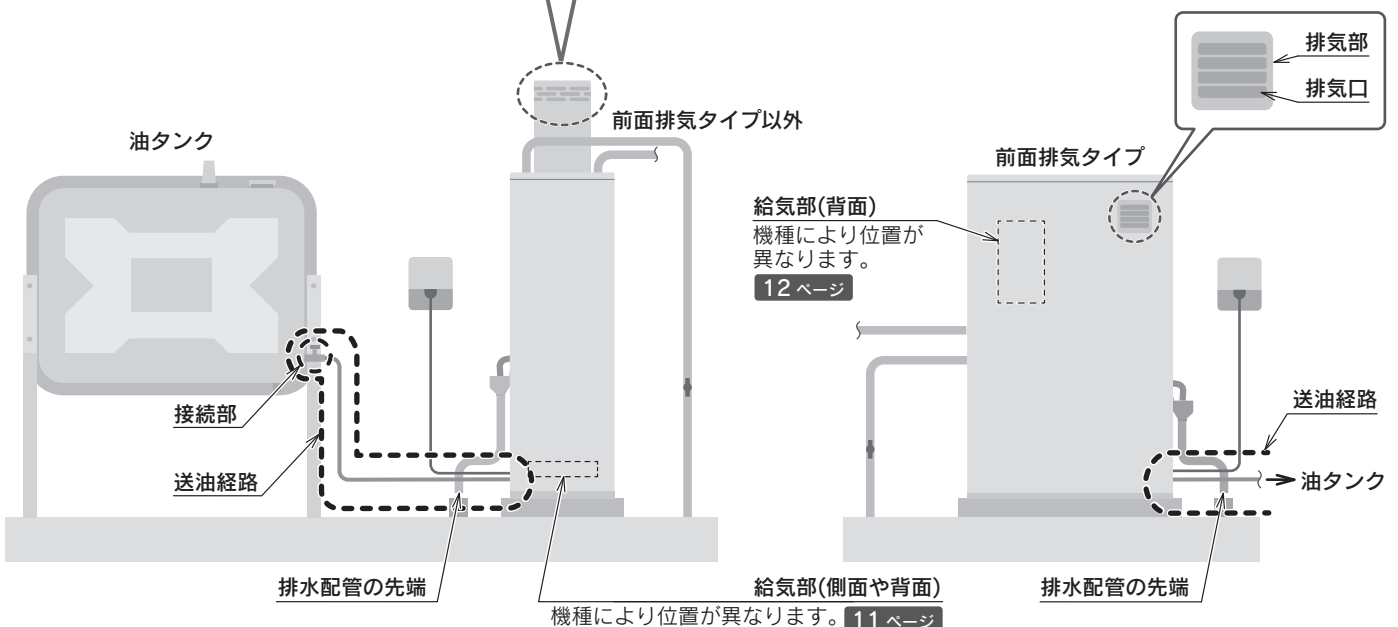


機器外観

- 給気口・排気口・給気部・排水配管の先端
ゴミやほこりでふさがれていないことを確認してください。
- 外装
部分的に変色していないこと、また錆びて穴が開いていないことを確認してください。

運転音

運転中に機器から異常な音がしていないことを確認してください。



日常の点検・手入れ

適時に

積雪時の注意

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



リモコン

水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。
また、塩素系カビ洗浄剤や酸性浴室用洗剤は使用しないでください。変色などの原因になります。

水フィルタの掃除 ※EHI-3870Sにはありません。

水フィルタにゴミなどがたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に掃除をしてください。

1 給水元栓を閉める

2 屋内の給湯栓を1箇所開ける

3 水フィルタをゆっくりはずし、掃除する

水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。

(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)

掃除は歯ブラシなどを使用してください。フィルタを変形させたり、Oリングやゴムパッキンに傷をつけないように注意してください。

4 水フィルタを元通りに取り付ける

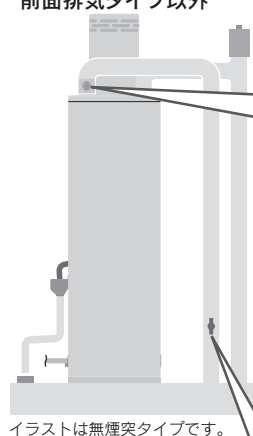
5 給水元栓を開ける

6 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める

はじめは空気混じりの水が出ます。

7 水フィルタから水漏れがないことを確認する

前面排気タイプ以外



イラストは無煙突タイプです。

水フィルタ

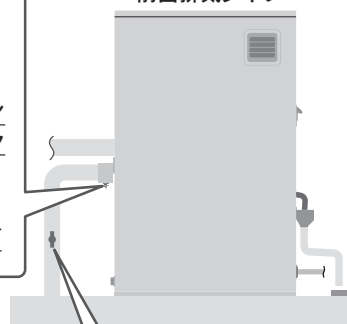
3 はずす

4 取り付ける

7

ゴムパッキン
フィルタ
Oリング

前面排気タイプ



給水元栓

1 閉める

5 開ける



給湯栓

2
6

●2ハンドル混合水栓

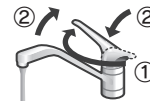
①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに回す

②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

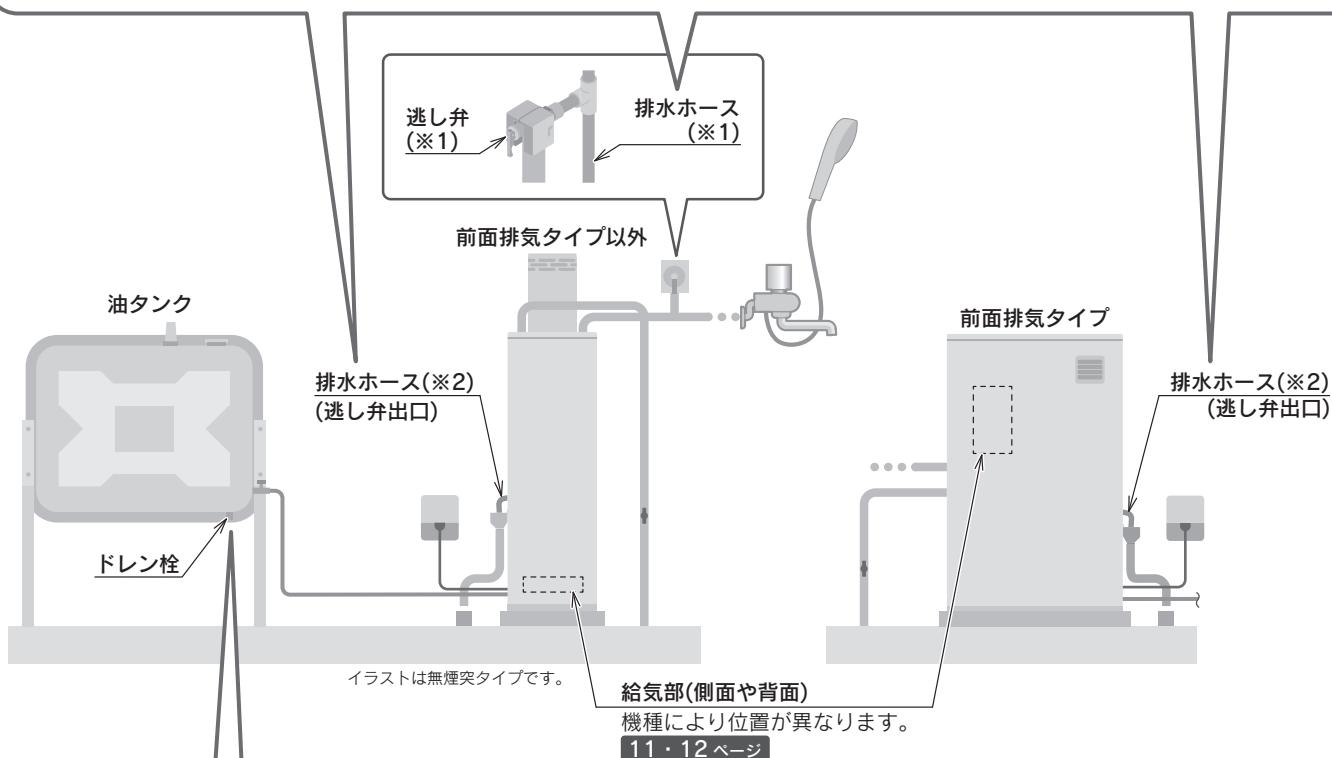
水漏れ

機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

1年に1回以上

排水ホースの確認

- バーナーが燃焼していない状態で、排水ホースからお湯(水)が出ていないことを確認してください。
〔燃焼中または燃焼後約1分間はお湯(水)が出ることがありますが、異常ではありません。〕
- 排水ホースからお湯(水)が出ている場合は、逃し弁のレバーを数回上下に動かした後、レバーを下げてお湯(水)が止まることを確認してください。(※1)
- 常にお湯(水)が出ている場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

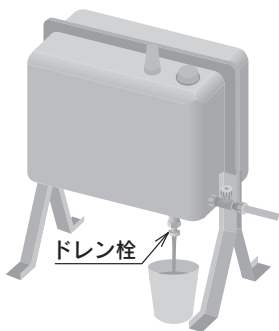


※1 EHI-3870S・EHI-4570Sにあります。 2ページ

※2 EHI-3870S・EHI-4570S以外にあります。 2ページ

油タンク

油タンクの底に結露した水がたまります。
ドレン栓を開けて抜きとってください。
(ドレン栓の形状はタンクによって異なります。)



油ストレーナ(機器内部)の点検

油ストレーナに水やゴミなどがたまることがあります。
点検には分解作業が必要ですので、お買い求めの販売店に
依頼してください。

ゴム製送油管の点検・交換のめやす (強制給排気タイプ・強制排気タイプの場合 2ページ)

屋内に設置してゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。
ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しい物に交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。

ほこり

機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。
特に給気部にたまったほこりをふきとってください。

日常の点検・手入れ

1年に1回以上

給湯熱交換器の掃除

給湯熱交換器に湯あかがたまるとお湯の沸き上げに時間がかかりますので、定期的に掃除してください。

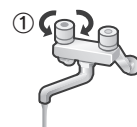
- 1 リモコンの運転スイッチが「入」のときは「切」にする
- 2 給湯栓を開け、じゃ口から出るお湯が水になったら閉める
出始めのお湯は熱いことがあります。やけどに注意してください。
- 3 電源プラグを抜く
- 4 給水元栓を閉める
- 5 機器の缶体排水栓(バルブ)・補助熱交排水栓(※1)をはずし、屋内の給湯栓を1箇所開ける
中和器排水栓ははずさないでください。
- 6 水フィルタ(※1・※2)をはずして給湯熱交換器内の水を排水する
〔水フィルタがついていない機種(※3)は逃し弁のレバーを上げる〕
- 7 水フィルタ(※2)と補助熱交排水栓を取り付ける
〔水フィルタがついていない機種(※3)は逃し弁のレバーを下げる〕
- 8 給水元栓を開ける
- 9 缶体排水栓(バルブ)からきれいな水が出てきたら、缶体排水栓(バルブ)を閉める
- 10 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める
はじめは空気混じりの水が出ます。
- 11 電源プラグを差し込む

給湯栓

2
5
10

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱい回す

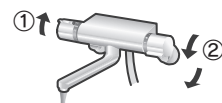
②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける / 閉める



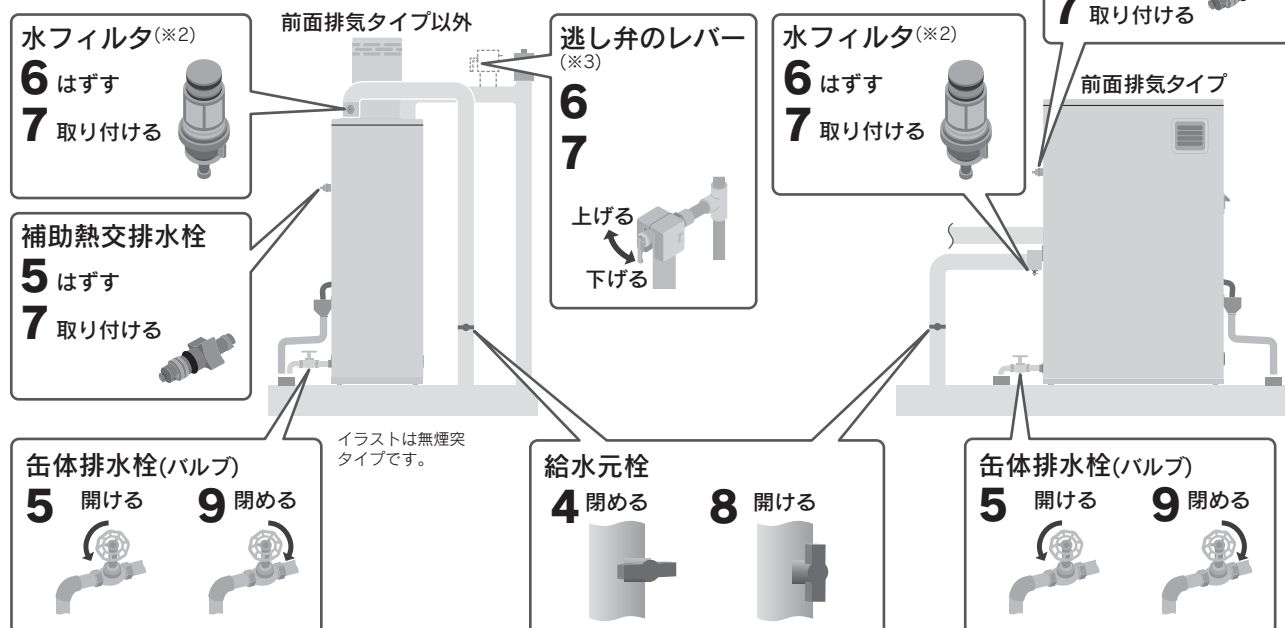
イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

※1 水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。

(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)

※2 水フィルタはEHI-3870S以外についています。

※3 EHI-3870S



定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。
(定期点検は有料です。)

法定点検

- この機器は消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。
(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
- この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。
ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入の上、必ず返送してください。
- 詳しくは「特定保守製品についての説明書」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

故障ではない場合がありますので、修理を依頼する前にもう一度確認してください。

シャワーやじゃ口	
こんなときは	確認してください
お湯も水も出ない	●断水していませんか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。 20ページ
給湯栓を開けてもお湯が出ない お湯の出が悪い	●燃料切れしていませんか。給油してください。 13ページ ●リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。 ●水フィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。 22ページ ●給湯栓のフィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。 ●サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
お湯が出なくなった	●燃料切れしていませんか。給油してください。 13ページ ●安全装置の作動が考えられます。 28ページ ●リモコンにエラーコードを表示している場合は「エラーコード」を参照して処置を行ってください。 30・31ページ ・対震自動消火装置の場合 「100」を表示します。 ・燃焼制御装置の場合 「110」・「120」・「130」・「131」のいずれかを表示します。 「130」・「131」を表示した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。 ・過熱防止装置の場合 「150」・「151」・「160」のいずれかを表示します。 この場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
停電後、復帰したのにお湯が出ない	●停電すると運転は停止し、リモコンの運転スイッチが「切」になります。 停電復帰後は、リモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。
給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	●配管内に残っている水が出てくることがあります。 お湯が出るまでしばらくお待ちください。 ●リモコンのECOスイッチを「入」にしているときは、しばらくお湯を使用していない状態が続いた後にお湯を使用すると、設定温度のお湯になるまで時間がかかることがあります。
お湯がぬるい (設定した給湯温度にならない)	●リモコンの給湯温度はめやすです。 配管の放熱により、設定した給湯温度よりも低くなる場合があります。 ●サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高めに設定して使用してください。 (バーグラフ表示の場合は「バーグラフ表示の給湯温度のめやす」参照 リモコン取扱説明書参照) ●1箇所のみ混合水栓のお湯の温度が設定した給湯温度にならないときは、混合水栓の故障が考えられます。
リモコンのECOスイッチが「入」のときに給湯温度を上げても設定した温度にならない (お湯がぬるい)	●太陽熱温水器を接続している場合、太陽熱温水器のお湯の温度によっては、バーナーが燃焼しないことがあります。この場合はリモコンのECOスイッチを「切」にして使用してください。
お湯の温度が上下したり水になったりする お湯の量が増減する	●次の場合が考えられます。 ・お湯を出したり止めたりを繰り返したとき。 ・2箇所以上でお湯を使用したとき。 ・水道の圧力が変動していたとき。
低温のお湯が出ない	●水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもう少し開けて水と混ぜて使用してください。
高温のお湯が出ない	●給湯温度の設定が低くなっていませんか。
給湯温度が変更できない	●操作しているリモコンが優先になっていますか。「優先」を切り替えてください。

	こんなときは	確認してください
シャワーやジャコ	お湯が白く見える	●水に溶けていた空気が機器内で加熱され、温度や水圧などの条件が重なったときに、細かい気泡となって出てくる自然現象です。 ビールの泡のようなもので、体には無害です。
	浴そうやお湯(水)が青く見える	●光の波長の関係で浴そうやお湯(水)が青く見えることがあります。
	浴そうや洗面用具などが青くなる	●配管(銅配管)から溶け出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。 (使いはじめに発生しやすく、時間の経過とともに発生しにくくなります。汚れを放置すると取れにくくなるので、こまめに掃除してください。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を使用するか、つけ置き洗いをすると効果的です。その後、水で十分に洗い流してください。)
機器	排気口から湯気が出る	●排ガスが水蒸気を多く含んでいるため、冷たい外気に触れて白く見えることがあります。
	燃焼表示が消えてもしばらくの間機器から音がする	●機器内の排ガスを排出するため、送風機がしばらくの間動きます。
	機器や逃し弁の排水ホースからお湯(水)が出る	●燃焼中または燃焼後約1分間は、上昇した機器内の圧力を逃がすためにお湯(水)が出ることがあります。異常ではありません。 ●上記以外のときにお湯(水)が出る場合は、逃し弁のレバーを数回上下に動かした後、レバーを下げてお湯(水)が止まることを確認してください。(※) 23ページ ●お湯(水)が止まらない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。 ●この機器は高効率型ですので、燃焼中は機器内で発生した凝縮水が出ます。
	運転前や停止後に機器から音がする	●お湯の温度を調節するための部品が動いている音です。異常ではありません。
	燃料を切らした後、給油しても火がつかない	●「燃料切れをしたときは」を参照して、送油経路の空気抜きを行ってください。 13ページ
リモコン	何も表示しない 運転スイッチが「入」にならない	●停電していませんか。 ●電源プラグが差し込まれていますか。 ●その他の装置(電流ヒューズ)の作動が考えられます。 28ページ ●電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	表面が熱く感じる	●使用中は表示画面が点灯しますので、熱く感じる場合があります。リモコンの運転スイッチを「切」にしている場合でも電子回路が動いているので熱く感じる場合があります。
	スイッチ操作ができない	●「チャイルドロック」が設定されていませんか。 リモコン取扱説明書参照
	表示画面が省エネモードにならない 表示画面のバックライトが暗い、または消灯している	●「表示画面省エネモード」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照
	音声案内をしない、または小さくなった	●「音声ガイド音量」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照 ●スピーカーに水がたまると音声小さくなる場合があります。水をふきとってください。
	操作音がしない、または小さくなった	●「操作音量」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照
	操作していないのに音が出る	●他のリモコンで給湯温度を変更したときなど、操作していないリモコンからも音声やブザーでお知らせすることがあります。
	表示画面の色が変化する	●表示画面を正面以外から見ると表示色に変化して見えることがあります。 また、表示内容などにより明るさにムラが生じることがあります。
	表示画面の切替わりが遅い	●気温が下がると表示の切替わりが遅くなる場合があります。
	油面計表示が点灯しているのに油タンクに灯油がない	●灯油残量表示機能はこの機器が消費した灯油の量を算出し、油タンクにどれくらいの灯油の残量があるかを計算して表示しています。 油タンクに複数の機器を接続している場合は、他の機器で消費した灯油の量を計算していないので、実際の灯油の残量を正しく表示できません。
	時計を表示しない	●「現在時刻」を設定してください。 リモコン取扱説明書参照

※EHI-3870S・EHI-4570Sのみ

故障かな？と思ったら

安全装置

安全装置	はたらき
対震自動消火装置	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して運転を停止します。
燃焼制御装置	バーナーが点火しないとき・途中失火したとき・異常燃焼したときに作動して運転を停止します。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたりしたときに作動して運転を停止します。
過熱防止装置	機器内のお湯の温度が異常に上昇したときに作動して運転を停止します。

その他の装置

その他の装置	はたらき
凍結予防装置 (EHI-3870S・EHI-4570S) (は除く)	機器内の給水経路が凍結しないように、凍結予防ヒータが作動して凍結を予防します。 凍結のおそれがなくなると、凍結予防ヒータは停止します。
電流ヒューズ	万一内部配線のショートや部品の故障などで過電流が流れたときに作動して運転を停止します。
送風機ヒューズ	
圧力スイッチ (強制給排気タイプ・ 高圧力型の場合 2ページ)	強制給排気タイプの場合は、中和器に水がない、または少ないときに作動して運転を停止します。 高圧力型の場合は、断水などで機器内の圧力が低下すると作動して運転を停止します。
中和器つまり検知装置	中和器や配管がつまり、ドレン水の排出ができなくなると作動して運転を停止します。
油切れ予告装置 (別売部品)	リモコンに灯油の残量を表示し(※)少なくなると、エラーコードを表示してお知らせします。

※灯油の残量を表示しないタイプもあります。 **13ページ**

●このページは空白です。

故障かな？と思ったら

エラーコード

- 異常・故障の場合はリモコンにエラーコードを表示します。
エラーコードを表示したときは、以下の「リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき」に従ってください。

また、Webページの「サポート情報」の「製品エラーコード」を参照してください。

エラーコード表示位置

表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。

音声リモコン



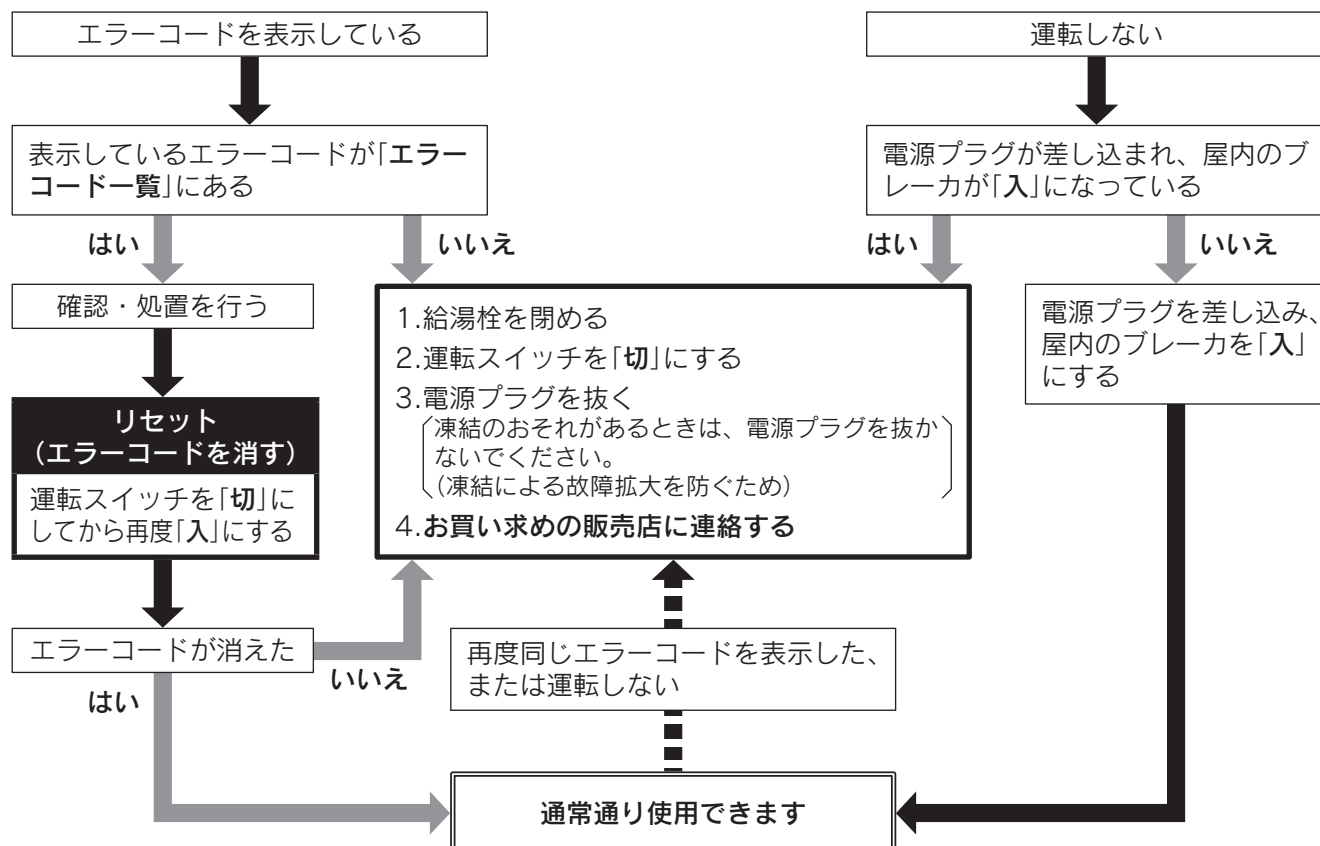
エラーコード

燃焼表示(※)

※エラーコード表示中で機能停止状態の場合は燃焼表示または燃焼ランプが点滅し、警告表示(31ページ)の場合は燃焼表示または燃焼ランプの点滅はありません。

リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき

- 以下の処置を行ってください。



エラーコード一覧

●記載していないエラーコードを表示したときは、使用を中止してお買い求めの販売店にご連絡ください。
 (「リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき」参照。 **30ページ**)

エラーコード	説明	確認・処置
090	接続している太陽熱利用給湯システムの異常を検知した (警告表示)	太陽熱利用給湯システムの取扱説明書を参照して処置してください。
100	地震や強い振動・衝撃を受けた	機器および周囲に異常がないことを確認してください。
110 130	着火できない	油タンクに灯油があることを確認してください。 油タンクの送油バルブが充分開いていることを確認してください。 (燃料切れをしていた場合は、給油後リセットを2~3回行ってください。 リセットを約8回繰り返すと、エラーコード「130」を表示してお客様によるリセットができなくなりますので注意してください。 13ページ)
120	燃焼中に火が消えた	
131 720	部品の異常を検知した	リモコンの運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にしてください。(リセット) (リセットを繰り返すと、エラーコード「131」を表示してお客様によるリセットができなくなりますので注意してください。)
260	機器に呼び水する前にリモコンの運転スイッチを「入」にした	リモコンの運転スイッチを「切」にして、「中和器への呼び水」を行ってください。 19ページ
261	機器に給水する前にリモコンの運転スイッチを「入」にした	機器に給水した後、給湯栓から水が出ることを確認してください。
661		機器に給水した後、電源プラグを5秒以上抜いた後、差し直してください
290	ドレン水が排水できない	ドレンホースが凍結やゴミでふさがれていないことを確認してください。 (凍結している場合は、自然解凍を待ってください。)
301	外気温を検知できない (警告表示)	機器の使用はできませんが、凍結予防装置が作動しません。 お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。 凍結のおそれがあるときは「じゃ口から水を流す方法」を行ってください。 16ページ
480	油切れ予告装置の異常を検知した (警告表示) (別売のOC-5を取付時)	油切れ予告装置の故障や断線が考えられます。 使用できませんが、お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。 別売の「油切れ予告装置」を取り付けていないのに、エラーコード「480」が表示されたときは設定を解除してください。 32ページ
740 750 760	通信異常	電源プラグを5秒以上抜いた後、差し直してください。 (リセットの必要はありません。 30ページ)
830	灯油の残量が少ない (警告表示) (別売のOC-5またはOC-31) を取付時	油タンクに給油してください。 13ページ
888	設計標準使用期間経過 (警告表示)	10年相当ご使用されたため、「点検時期をお知らせする機能」が働いてお知らせをしています。(故障ではありません。) 使用はできませんが、安全のためお早めに点検(有料)を受けてください。 連絡先：株式会社長府製作所 ☎ 電話 0120-921-971 (通話料無料) 受付時間：(平日) 9:00~17:00 ※年末年始を除く
920	中和器寿命(警告表示)	しばらくは使用できますが中和器の交換が必要です。 33ページ お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。

■警告表示

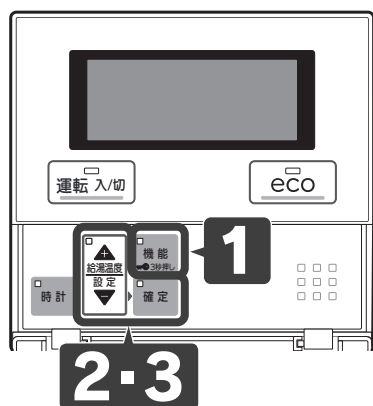
エラーコードを表示していても機器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

運転中に誤作動したときは

●万一運転中に雷、自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったときは電源プラグをコンセントから5秒間以上抜いた後に再度差し込み、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

故障かな？と思ったら

油切れ予告装置異常「480」が表示されたときの解除方法



1 **機能** を押す

2 **+ または -** を押して機能設定番号「21」を選び **確定** を押す

3 **-** を押して「oFF」を選び **確定** を押す

設定内容

oFF←0←2←4～116←118←120 (cm)

1回押すと2cm単位、押し続けると10cm単位で変わります。



機能設定番号



お知らせ

- 設定を途中でやめる場合は機能スイッチを数回押してください。通常の表示に戻ります。

確定 を押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

強制給排気タイプの場合 2ページ

- 給排気筒のOリングは、「FKM-70(フッ素)(JIS B2401-1) P70」を使用しています。

中和器について

- 中和器の寿命が近づくとエラーコード「920」を表示し、中和器の交換時期をお知らせします。
- 中和器の寿命が過ぎるとエラーコード「930」を表示し、運転を停止します。
この場合は中和器を交換しないと運転できません。お買い求めの販売店に交換を依頼してください。
同時に機器の点検をおすすめします。

仕 様

型名			EHI-3870S	EHI-3870SG	EHIF-3870SG
型式の呼び			EHI-387		EHIF-387
種類			圧力噴霧式・貯湯式急速加熱形・家庭用		
			水道直結式(減圧弁・逃し弁必要)	水道直結式(減圧弁・逃し弁内蔵)	
			屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形		屋外用開放形
点火方式			高圧放電式		
使用燃料			灯油(JIS1号灯油)		
燃料消費量			39.8kW(3.87L/h)		
連続給湯効率			95.0%		
連続給湯出力			37.8kW(32,500kcal/h)		
給湯量(※)	お湯の温度	40℃	1,625L/h		
		50℃	1,080L/h		
		60℃	810L/h		
		75℃	590L/h		
熱交換器容量			14.5L(主熱交：11.5L 補助熱交：3.0L)		
使用圧力(最高使用圧力)			0.1MPa(1.0kgf/cm ²)		
伝熱面積			1.12m ² (主熱交：0.84m ² 補助熱交：0.28m ²)		
外形寸法			高さ 916mm 幅 256mm 奥行 515mm	高さ 906mm 幅 550mm 奥行 277mm	
質量(満水時)			28kg(42kg)	29kg(43kg)	33kg(47kg)
電源電圧及び周波数			100V 60Hz	100V 50/60Hz	
定格消費電力			点火時：105W 燃焼時： 78W	点火時：105/105W 燃焼時： 78/ 78W	
待機時消費電力			1.9W		
排気温度			260℃以下		
排気筒の呼び径			100	—	
騒音レベル			45dB		
電流ヒューズ			10A		
送風機ヒューズ			3A		
安全装置			対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置		
その他の装置			電流ヒューズ・送風機ヒューズ・中和器つまり検知装置・油切れ予告装置(別売部品)		
			凍結予防装置		
付属品			排水用ホッパー・転倒防止金具・送油管・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋		
			プラグ(1/2)・膜付グロメット	プラグ(1/2)・給水口保温材 膜付グロメット	給水口保温材
区分名(省エネ法)			II		
エネルギー消費効率(モード)			85.0%		

※水道水の温度が20℃のときの沸き上げ可能な最大量のめやすです。給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

EH1-4570S	EH1-4570SG	EH1-4570SGH	EH1F-4570SG	EH1F-4570SGH
EH1-457			EH1F-457	
圧力噴霧式・貯湯式急速加熱形・家庭用				
システム式・水道直結式 (減圧弁・逃し弁必要)	水道直結式(減圧弁・逃し弁内蔵)			
屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形			屋外用開放形	
高圧放電式				
灯油(JIS1号灯油)				
47.7kW(4.64L/h)				
95.0%				
45.3kW(39,000kcal/h)				
1,950L/h				
1,300L/h				
975L/h				
720L/h				
17.0L(主熱交: 13.8L 補助熱交: 3.2L)				
0.1MPa(1.0kgf/cm ²)		0.2MPa (2.0kgf/cm ²)		0.1MPa (1.0kgf/cm ²)
0.2MPa (2.0kgf/cm ²)				
1.14m ² (主熱交: 0.86m ² 補助熱交: 0.28m ²)				
高さ 933mm 幅 300mm 奥行 591mm			高さ 929mm 幅 590mm 奥行 300mm	
37kg(55kg)	38kg(56kg)	39kg(57kg)		40kg(58kg)
100V 60Hz	100V 50/60Hz			
点火時: 112W 燃焼時: 84W	点火時: 116/112W 燃焼時: 87/ 84W			
1.9W				
260℃以下				
100			—	
45dB				
10A				
3A				
対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置				
電流ヒューズ・送風機ヒューズ・中和器つまり検知装置・油切れ予告装置(別売部品)				
凍結予防装置		凍結予防装置 圧カスイッチ		凍結予防装置 圧カスイッチ
排水用ホッパー・転倒防止金具・送油管・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋				
膜付グロメット	給水口保温材・膜付グロメット		給水口保温材	
II				
85.0%				

据付け

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据え付けられていることをもう一度確認してください。

試運転

- 工事説明書の「試運転」を参照して行ってください。

長府石油瞬間給湯器 保証書(販売店様控)
長府高圧力型石油瞬間給湯器

型 名	EHI-3870S EHI-3870SG EHI-4570S EHI-4570SG			EHIF-3870SG EHIF-4570SG EHI-4570SGH EHIF-4570SGH		
★製造番号	No.		保証期間	1 年		
★お買い上げ日	年 月 日			★販 売 店	住所・店名	
★お 客 様	お名前 様					
	ご住所					
	電話 ()				電話 ()	

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府石油瞬間給湯器 保証書(お客様控)

長府高圧力型石油瞬間給湯器

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型 名	EH1-3870S EH1-3870SG EH1-4570S EH1-4570SG	EH1F-3870SG EH1F-4570SG EH1-4570SGH EH1F-4570SGH	
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名
★お客様	お名前 様		電話 ()
	ご住所		
	電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
- (12) 温泉水を給水したことに起因する不具合
- (13) 地下水・井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する不具合
高圧力型は水道水以外を給水したことに起因する不具合
- (14) 公害による不具合
- (15) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
- (16) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 TEL (083)248-1111

アフターサービス

修理を依頼するとき

●「故障かな？と思ったら」[26～31ページ](#)をもう一度確認していただき、直らないときは保証書(前ページ)に記載の
お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。
 - ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 - ②修理に使用した部品代金です。
 - ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	石油瞬間給湯器 高圧力型石油瞬間給湯器
型名	機器前パネルの銘板に記載されています。 2ページ
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後11年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様から
のお問い合わせは、
フリーダイヤルへ

 **0120-925-339**
携帯電話からは **0570-666-339**
(通話料金がかかります)

お客様から取得いたしました個人情報
は、お客様へのお問い合わせ対応を
目的として利用し、適切に管理します。
修理業務などを委託する場合や正当な
理由がある場合を除き、第三者に開示・
提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する
お問い合わせ

24時間365日受付

商品に関する
お問い合わせ

平日 8:10～18:00
土日祝 8:10～17:00

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

- 水漏れや油漏れがある。
- 煙が出たり、灯油の臭いがする。
- 運転中にこげくさい臭いがする。
- 異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止して
電源プラグを抜き、送油バルブと給水元
栓を閉めて、お買い求めの販売店に点検
・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

CHOFU

本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1